

長久手市行政評価票

事業番号	74	事業の名称	農楽校事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 農業の多様な担い手の育成 (概要) 農作業を行うにあたっての基本的な知識と技術を学ぶ「基礎コース」と、より実践的な知識と技術を習得する「農力向上コース」に分かれ、週1回の実習及び年8回の講義の実施をする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市:日進アグリスクール(初、中、上級コース) 東郷町:とうごう農学校、東郷軽トラ市 瀬戸市:せと農業塾(担い手コース)	
	事業期間		事業開始年度	平成16年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	受講生	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多様な担い手として、農業に従事してもらおう。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	1,992	1,651	1,695	1,414
					国費・県費					
					地方債					
					受益者負担額	415	420	420	440	456

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算			
①	ほ場実習の実施	受講生	市内農家コーチのもと、通年実習で農作業を体験することで				約50回実施	農楽校をきっかけに、今後何らかの形で農に携わりたいと答えた受講生の割合	—	100.0	%	全受講生(100%)	1,928	1,587	農楽校講師報償金(実習コーチ分)348千円 消耗品費 602千円 光熱水費 276千円	A	現行どおり実施する。全体として受講生の満足度は高いが、実習の管理体制や運営方法について、予算はそのまま、よりよい方法を模索する予定。また、修了後の就農支援の方法についても検討するとともに、修了生の就農状況も調査していく。
②	講義の実施	受講生	病害虫や肥料等に関する講義を行うことで				8回実施	講義が役に立つと答えた受講生の割合	—	100	%	全受講生(100%)	64	64	農楽校講師報償金(座学講師分) 64千円	A	現行どおり実施する。実習に、よりリンクした講義を目指す。
③	野菜販売実習	受講生	実習で栽培した野菜の販売実習を行うことで				1回開催	販売実習が今後役に立つと答えた受講生の割合	—	100	%	全受講生(100%)	0	0		A	現行どおり実施する。農楽校のPRを兼ねて、受講生と消費者との交流を図ることができた。平成25年は年2回実施する予定。
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要